

野菜や果樹におすすめできる  
ベジフルシリーズ

技術資料

殺虫剤

# 野菜と果樹の害虫退治に

害虫の発生を長く抑える（アブラムシで約1ヵ月効果持続）

## ベニカベジフル®スプレー

Q & A



|             |                       |
|-------------|-----------------------|
| 商 品 名       | ベニカベジフル®スプレー          |
| 登録番号        | 農林水産省登録 第 23121 号     |
| 成分<br>(含有量) | クロチアニジン …………… 0.0080% |
| 性 状         | 無色透明液体                |
| 種 類 名       | クロチアニジン液剤             |
| 容 量         | 420ml、1000ml          |

(ガーデンドクター、ベニカベジフル、マイガーデンは登録商標)

肥料

野菜や果樹を丈夫に育てるマイガーデン®ベジフル  
元肥にも追肥にも！ばらまくだけでしっかり効く

付録 (p7)

リリースコントロールテクノロジー採用

3～4ヵ月効きめが続く

有機質、腐植酸入り

チッソ：リンサン：カリ：マグネシウム  
7：7：10：1.5

特許第 4923502 号



# CONTENTS

|                                         |   |
|-----------------------------------------|---|
| Q1. ベニカベジフルスプレーの特長を教えてください。 .....       | 2 |
| Q2. 有効成分について教えてください。 .....              | 2 |
| Q3. 登録内容を教えてください。 .....                 | 3 |
| Q4. 商品の特長を教えてください。 .....                | 4 |
| Q5. 切り替えノズルを採用した理由は？ .....              | 6 |
| Q6. 人畜や環境に対する安全性情報を教えてください。 .....       | 6 |
| Q7. 使用上の注意点があれば教えてください。 .....           | 6 |
| 委託試験成績の紹介、(付録) マイガーデンベジフル 特長と使用方法 ..... | 7 |

## Q1 ベニカベジフルスプレーの特長を教えてください。

- 幅広い害虫に優れた効果があり、だいこん、キャベツなどの野菜、うめ、かき、かんきつなどの果樹に使えます。
- 速効性と持続性(アブラムシで約1ヵ月)を実現しました。成分は葉裏まで浸透し、葉の中や葉裏の害虫まで退治します。
- 切り替えノズルで高い所まで届くため、果樹の害虫防除にも便利です。

## Q2 有効成分について教えてください。

### 有 効 成 分

### クロチアニジン(ネオニコチノイド系)

住友化学のネオニコチノイド系殺虫成分です。経口(摂食)、経皮(接触)によって作用し、昆虫の神経伝達を遮断することで退治します。速効性と持続性を兼ね備えており、有効成分は葉や茎から吸収されて植物体内にゆきわたる浸透移行性があるので、葉の中や葉裏に隠れている害虫など直接殺虫剤がかかりにくいところにいる害虫も効果的に退治します。有機リン系、カーバメート系、合成ピレスロイド系などの殺虫剤に対して感受性が低下した害虫にも高い効果をあらわします。殺虫スペクトラムも広く各種害虫にすぐれた防除効果があります。

## Q3 登録内容を教えてください。

定番の果菜類（トマト、ミニトマト、なす、きゅうり）だけでなく、葉菜類（キャベツ、ブロッコリー）、その他にも、だいこん、えだまめ、だいず、ピーマン、オクラ、ばれいしょなど、家庭菜園でおなじみの野菜に登録があります。さらに主要な果樹（かんきつ、かき、うめ、ぶどう）にも使用できますので、収穫を楽しむ野菜・果樹（ベジ・フル）を栽培される方にとって便利な登録内容となっています。

### 【適用害虫と使用方法】

※印は収穫物への残留回避のため、本剤及びその有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示します。

| 作物名                        | 適用害虫名              | 希釈倍数 | 使用時期      | 総使用回数※                                                                       | 使用方法 |
|----------------------------|--------------------|------|-----------|------------------------------------------------------------------------------|------|
| だいこん                       | アブラムシ類             | 原液   | 収穫 7 日前まで | 本剤：2 回以内<br>クロチアニジン：3 回以内（は種時の土壌混和は 1 回以内、は種後は 2 回以内）                        | 散布   |
| キャベツ                       | アオムシ<br>コナガ        |      | 収穫 3 日前まで | 本剤：2 回以内<br>クロチアニジン：3 回以内（は種時の散布、育苗期の株元処理及び定植時の土壌混和は合計 1 回以内、散布は 2 回以内）      |      |
| ブロッコリー                     | アオムシ               |      |           | 本剤：3 回以内<br>クロチアニジン：4 回以内（は種時の散布、育苗期の株元処理及び定植時の植穴処理土壌混和は合計 1 回以内、散布は 3 回以内）  |      |
| えだまめ                       | カメムシ類              |      |           | 3 回以内                                                                        |      |
| だいず                        |                    |      |           | 収穫 7 日前まで                                                                    |      |
| きゅうり                       | アブラムシ類<br>コナジラミ類   |      | 収穫前日まで    | 本剤：3 回以内<br>クロチアニジン：4 回以内（育苗期の株元処理及び定植時の土壌混和は合計 1 回以内、散布及び定植後の株元散布は合計 3 回以内） |      |
| なす                         | アブラムシ類<br>ハモグリバエ類  |      |           | 本剤：2 回以内<br>クロチアニジン：3 回以内（育苗期の株元処理及び定植時の土壌混和は合計 1 回以内、散布は 2 回以内）             |      |
| トマト<br>ミニトマト               | アブラムシ類             |      |           |                                                                              |      |
| ピーマン                       | ミナミキイロアザミウマ        |      |           |                                                                              |      |
| オクラ                        | アブラムシ類             |      |           | 3 回以内                                                                        |      |
| ばれいしょ                      | テントウムシダマシ類         |      | 収穫 7 日前まで | 本剤：3 回以内<br>クロチアニジン：4 回以内（植付時の土壌混和は 1 回以内、植付後は 3 回以内）                        |      |
| うめ                         | アブラムシ類             |      | 収穫 3 日前まで | 3 回以内                                                                        |      |
| かき                         | カキノヘタムシガ           |      | 収穫 7 日前まで | 本剤：3 回以内<br>クロチアニジン：4 回以内（樹幹散布は 1 回以内、散布は 3 回以内）                             |      |
| かんきつ                       | アブラムシ類<br>ミカンハモグリガ |      |           | 3 回以内                                                                        |      |
| ぶどう                        | コナカイガラムシ類          |      | 収穫前日まで    | 3 回以内                                                                        |      |
| ガーベラ<br>カトレア               | アブラムシ類             |      | —         | 6 回以内                                                                        |      |
| 花き類・観葉植物<br>（ガーベラ、カトレアを除く） |                    |      |           | 4 回以内                                                                        |      |

■「は種」とは、種をまくことです。

# Q4

## 商品の特長を教えてください。

**特長①** だいこん、キャベツなどの野菜、うめ、かき、かんきつなどの果樹に使える、幅広い害虫に優れた効果があります。

**適用作物** 野菜、花き類・観葉植物



トマト



ミニトマト



きゅうり



なす



ピーマン



オクラ



えだまめ



ばれいしょ



キャベツ



ブロッコリー



だいこん



花き類・観葉植物

### 果樹



うめ



かき

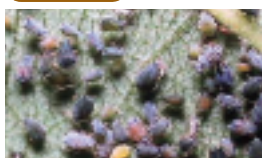


かんきつ



ぶどう

**対象害虫** 吸汁性害虫



アブラムシ類



コナジラミ類



カメムシ類



ミナミキイロアザミウマ



コナカイガラムシ類

### 食害性害虫



アオムシ



コナガ



テントウムシダマシ類



カキノヘタムシガ



ミカンハモグリガ

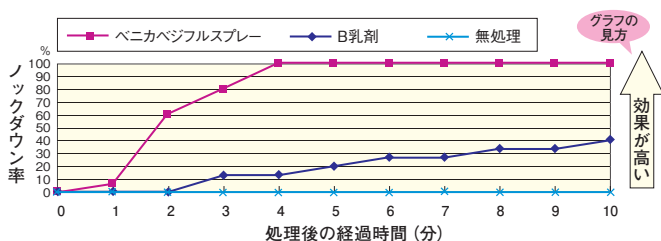


ハモグリバエ類

**特長②** 速効性と持続性(アブラムシで約1ヵ月)を実現しました。

### 速効性—試験事例— チャバネアオカメムシ

ベニカベジフルスプレーは散布して約1分後に効果が発現し、5分後には全ての個体がノックダウンされました。  
※完全致死には丸一日程度かかります。

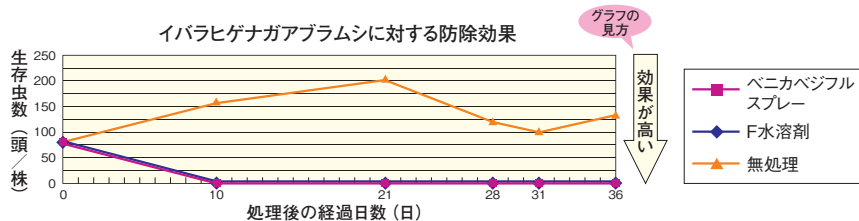


試験日：2012/6/6  
供試虫：チャバネアオカメムシ成虫  
試験方法：ろ紙を敷いたシャーレに供試虫を放飼し、供試薬剤を十分量処理し、フタをしてノックダウンに要する時間を調査した。  
また、ノックダウン後の復活を確認するため1日後まで調査した。  
試験規模：1区5頭3反復  
試験場所：静岡県浜松市 弊社研究開発部製品開発センター

## 持続性—試験事例①

### イバラヒゲナガアブラムシ (ばら)

イバラヒゲナガアブラムシの多発生時にベニカベジフルスプレーを散布したところ、効果は1ヵ月以上持続しました。

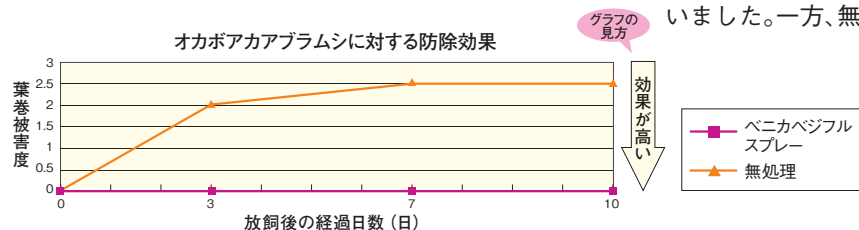


試験期間: 2012/5/28 ~ 7/3  
 供試植物: ばら (エンチャントドイブニング)  
 供試虫: イバラヒゲナガアブラムシ  
 試験方法: 供試薬剤を十分量処理し、経時的にアブラムシ類の生存虫数を調査した。  
 試験規模: 1区3株2反復  
 試験場所: 静岡県浜松市 弊社研究開発部製品開発センター

## 持続性—試験事例②

### オカボアカアブラムシ (葉巻アブラムシ、うめ)

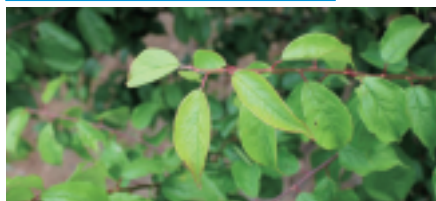
ベニカベジフルスプレー散布21日後、うめに発生したオカボアカアブラムシを放飼しましたが、ベニカベジフルスプレーを散布した葉では寄生による葉巻の被害は全く見られず、効果が持続していました。一方、無処理区では3日後から葉が巻いてきました。



#### 葉巻被害度判定基準

- 0: なし
- 1: 生長点に僅かに葉巻が見られる
- 2: 葉巻の頻度がやや高い
- 3: 葉巻の頻度が極めて高い

## ベニカベジフルスプレー



【処理前】



【3日後】



【7日後】

## 無処理



【処理前】



【3日後】葉が巻いてきた



【7日後】葉巻症状が進んだ

試験期間: 2012/5/28 ~ 6/11  
 供試植物: うめ (品種不明)  
 供試虫: オカボアカアブラムシ (うめ葉巻アブラムシ)  
 試験方法: うめの葉にあらかじめ供試薬剤を十分量処理し、処理21日後(5/28)に供試虫を放飼し、その後の葉巻被害度を調査した。  
 試験規模: 1区3~5枝  
 試験場所: 静岡県浜松市 弊社研究開発部製品開発センター

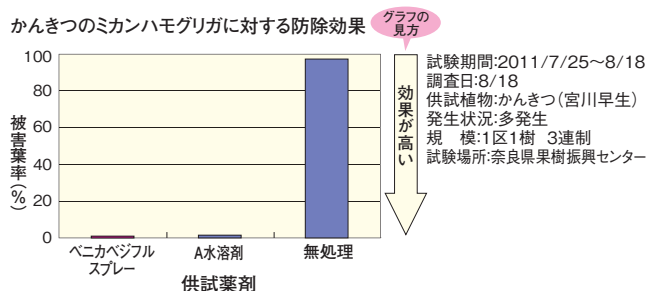
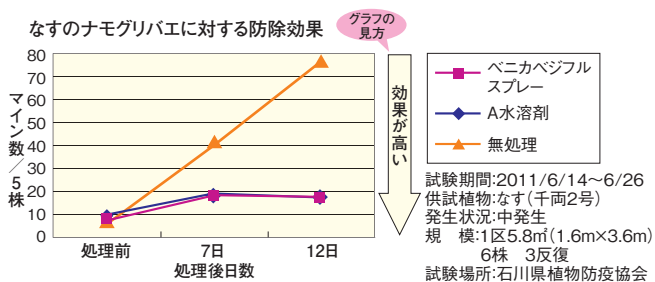


【オカボアカアブラムシ】

**特長③ 成分は葉裏まで浸透し、葉の中や葉裏の害虫まで退治します。**

## 浸透移行性—試験事例③ ナモグリバエ、ミカンハモグリガ

ベニカベジフルスプレーは葉の中に食入するナモグリバエ、ハモグリガに対しても高い効果を現します。



## Q5 切り替えノズルを採用した理由は？

ペニカベジフルスプレーのトリガーは通常噴霧とジェット of 「切り替えノズル」を採用しています。大容量 1000ml のスプレー剤を家庭菜園、家庭果樹の幅広い場面で使用することを想定したもので、中～高木の果樹であればジェットノズルに切り替えて散布することで高い所の枝葉まで散布液が届きます。また鉢植えやプランターなどであれば通常噴霧ノズルも便利ですが、一坪菜園の畝で、しゃがんでスプレー剤を噴霧するのはかなりの重労働です。そんな時もジェットノズルに切り替えれば、立ったままで楽に散布作業ができます。

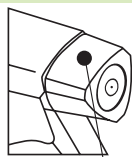
### 【使用場面にあわせてノズルを切り替える】

**直** 又は **霧** を上部に合わせ、トリガーをまっすぐ引いて使用する。

### 【使い方】

|          |                            |              |
|----------|----------------------------|--------------|
| <b>止</b> | 噴霧できません。使用後はこのマークを上部に合わせる。 |              |
| <b>直</b> | 遠くに直噴                      | ジェットでねらい撃ち散布 |
| <b>霧</b> | 近くに噴霧                      | ワイドな霧でムラ無く散布 |

### 【使い方】



### 【注意】

- 直噴の場合、薬液が遠くまで届くので、人、ペット、池、人家、自動車、壁、洗濯物、玩具などにかからないように注意する。
- 破損、液漏れをさけるため、落下や横転させない。横置きしない。又、「止」でトリガーを引かない。
- 噴口を人に向けない。
- 他の液を入れない。
- 残液が少ない場合、散布角度によって、出にくくなることがある。

## Q6 人畜や環境に対する安全性情報を教えてください。

ペニカベジフルスプレーの安全性に関するデータは下記の通りです。参考にしてください。

- 人畜毒性：普通物相当<sup>(※1)</sup>
- 急性経口毒性<sup>(※2)</sup> LD<sub>50</sub> ラット♀ > 2000 mg/kg
- 急性経皮毒性<sup>(※3)</sup> LD<sub>50</sub> ラット♀ > 2000 mg/kg
- 眼刺激性試験 軽度の刺激性（ウサギ）
- 皮膚刺激性 刺激性なし（ウサギ）
- 皮膚感作性 感作性なし（モルモット）
- 水産動植物に対する影響
 

|      |                                              |        |
|------|----------------------------------------------|--------|
| コイ   | LC <sub>50</sub> (96h) <sup>(※4)</sup>       | 45mg/ℓ |
| ミジンコ | EC <sub>50</sub> (48h) <sup>(※5)</sup>       | 25mg/ℓ |
| 藻類   | ErC <sub>50</sub> (0h - 72h) <sup>(※6)</sup> | 14mg/ℓ |

※1 農薬は毒性の強い順に特定毒物、毒物、劇物、普通物の4種類に分けられます。（普通物は毒劇物に該当しないものを指している通称です。）

※2 LD<sub>50</sub>：半数致死薬量。薬物の投与実験で、50%の個体を死に至らしめる薬物量。供試動物の単位重量当りの薬物重量（mg/kg、μg/g）で表す。（毒物：LD<sub>50</sub> 値 50mg/kg 以下、劇物：LD<sub>50</sub> 値 50mg/kg を超え 300mg/kg 以下）

※3 （毒物：LD<sub>50</sub> 値 200mg/kg 以下、劇物：LD<sub>50</sub> 値 200mg/kg を超え 1000mg/kg 以下）

※4 LC<sub>50</sub>：半数致死濃度。薬物を接触させたり、投与する実験で、50%の個体を死に至らせる薬物濃度。

※5 EC<sub>50</sub>：一定条件下で供試生物の50%に何らかの影響（生育阻害、遊泳異常など）を起こさせる薬物濃度。

※6 ErC<sub>50</sub>：一定条件下で供試生物の50%に生育阻害を起こさせる薬物濃度。

## Q7 使用上の注意点があれば教えてください。

ペニカベジフルスプレーの使用上の注意事項です。実際の使用に際しては必ずラベルをよく読んで、記載内容に従ってお使いください。

### 【効果・薬害等の注意】

- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用する。なお、病害虫防除所または販売店等と相談することが望ましい。

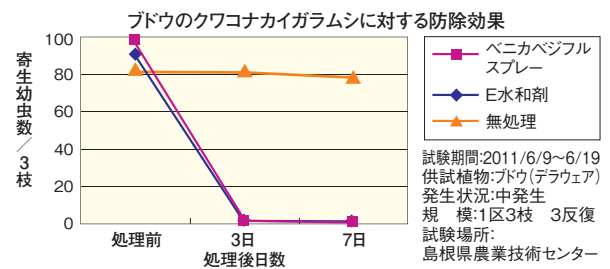
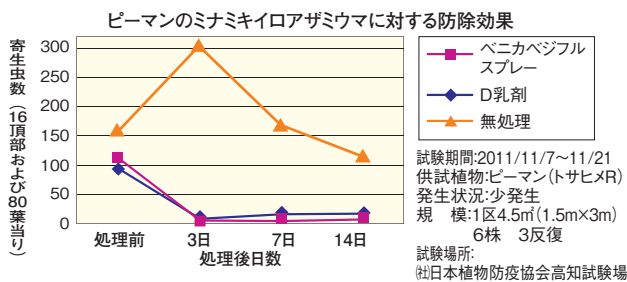
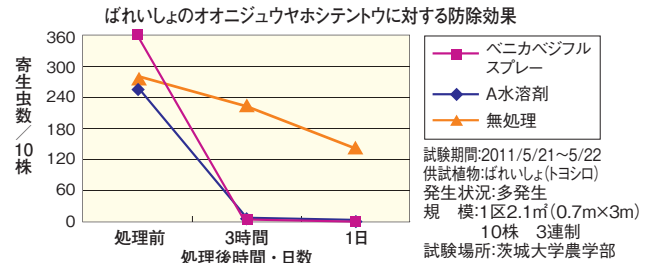
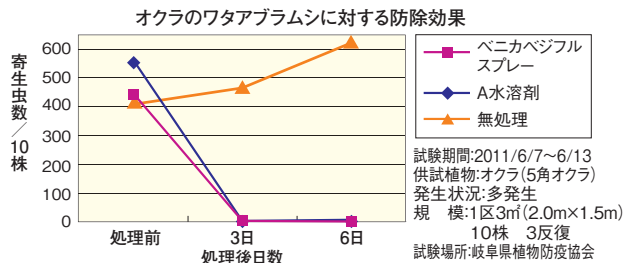
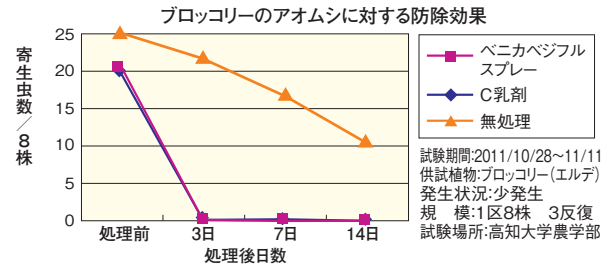
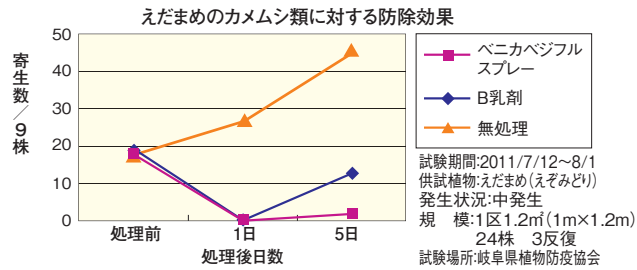
### 【安全使用上の注意】

- 体調のすぐれない時は散布しない。
- 人に向かって噴射しない。
- 眼に入らないように注意する。眼に入った場合は、直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける（弱い刺激性）。
- 風向きなどを考え周辺の人家、自動車、壁、洗濯物、ペット、玩具などに散布液がかからないように注意する。
- 周辺の桑葉には、かからないようにする（蚕毒）。
- ミツバチに対する注意。
  - ① 巣箱及びその周辺にかからないようにする。
  - ② ミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさける。
  - ③ 養蜂地区では周辺への飛散に注意し危害防止に努める。
- マルハナバチに影響を及ぼすおそれがあるので注意する。
- 使用後の空容器は3回以上洗浄してから処理する。

### 【保管上の注意】

- 飲食物・食器類やペットの餌と区別し、火気や直射日光をさけ、密閉して、小児の手の届かない冷涼な場所に横にしないで立てて保管する。

## 委託試験成績の紹介(抜粋)



実際の効果を動画でもご覧頂けます。

【P C】

<http://www.sc-engei.co.jp/member/vg1.mp4>

【携帯】



ベニカベジフルスプレーと対照のA乳剤をチャバネアオカメシに散布した比較試験です。ベニカベジフルスプレーは約3分でノックダウン効果が現れました。

【P C】

<http://www.sc-engei.co.jp/member/vg2.mp4>

【携帯】



えだまめのチャバネアオカメシにベニカベジフルスプレーを散布し退治の様子です。約9分後に麻痺して葉から落ちました。

## 付録

## 野菜や果樹を丈夫に育てる肥料 マイガーデンベジフル

「おいしい野菜やくだものをつくりたい」と願う園芸愛好家におすすめの、元肥にも追肥にも使える、ばらまきタイプの簡単便利な緩効性肥料です。



マイガーデンベジフルの袋には、環境に配慮したバイオマス原料を一部使用しています。

### 特長

#### 特許を取得(特許第4923502号)

野菜やくだもの元肥や追肥に、ばらまきだけでしっかり効く(3ピーク・ブレイドで3~4ヵ月持続)、かんたん便利な肥料です。有機質をブレンドし、栄養分を効率よく吸収させるすぐれた腐植酸入り緩効性肥料として特許を取得しています。



#### 土に活力を与える腐植酸を配合

植物が肥料を吸収しやすい働きや、土壌の保水性、通気性を高めるなど、土に活力を与える作用がある腐植酸をブレンドしています。

#### リリースコントロールテクノロジー採用

温度変化にあわせて溶出量が調節されるので、植物の生育に合った栄養補給が可能です。

#### 【イメージ図】



### 使用方法

#### ●元肥として使用する場合

植物を植える前にあらかじめ土に施します。植え付け、植え替え、種まき時に適量を土に混ぜ込みます。※肥料が直接根に触れても肥料焼けしません。

#### ●追肥として使用する場合

植物を植えた後に生長に応じて、株元に均一にばらまきます。

#### ■野菜での使用の目安(元肥・追肥)

| 用途  | 標準使用量                                      |                      |
|-----|--------------------------------------------|----------------------|
|     | 標準プランター(65cm)                              | 菜園(花壇)               |
| 果菜類 | トマト、ピーマン、イチゴなど<br>(5~6g/用土ℓ)               | 60~70g<br>(5~6g/用土ℓ) |
|     | ナス、キュウリなど<br>(12g/用土ℓ)                     | 150~200g/㎡           |
| 葉菜類 | レタス、ホウレンソウ、パセリ、コマツナ、シュンギク、ネギなど<br>(7g/用土ℓ) | 140g<br>(12g/用土ℓ)    |
| 根菜類 | ニンジン、ラディッシュ、カブ、ジャガイモなど<br>(4g/用土ℓ)         | 90g<br>(7g/用土ℓ)      |
| その他 | 草花<br>(8g/用土ℓ)                             | 200g/㎡               |
|     | ハーブ類<br>(4g/用土ℓ)                           | 100g<br>(8g/用土ℓ)     |

※追肥が必要な場合は3~4ヵ月間隔で株元に均一にばらまきます。

#### ■果樹での使用の目安(元肥・追肥)

##### 【植え付け時(元肥)】

| 用途       | 標準使用量                                                                   |        |
|----------|-------------------------------------------------------------------------|--------|
|          | コンテナ栽培                                                                  | 地植え    |
| つる性・高木果樹 | キウイフルーツ、パッションフルーツ、ブドウ、モモ、イチジク、カキ、オリーブ、かんきつ類(キンカン、ミカン、レモン)など<br>(8g/用土ℓ) | 300g/株 |
| 低木果樹     | ブルーベリー、ラズベリー、ブラックベリーなど<br>(4g/用土ℓ)                                      | 150g/株 |

##### 【生育時(追肥)】

カレンダーで色がついている時期に下記の標準使用量を1回ずつ株元にばらまいてください。

|                      | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|----------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|
| キウイフルーツ              | →  |    |    |    |    |    |    |    |    |     |     |     |
| パッションフルーツ            |    |    |    |    |    |    |    |    |    |     |     |     |
| ブドウ、モモ               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |     |     |     |
| イチジク                 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |     |     |     |
| カキ                   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |     |     |     |
| オリーブ                 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |     |     |     |
| キンカン                 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |     |     |     |
| ミカン                  |    |    |    |    |    |    |    |    |    |     |     |     |
| レモン                  |    |    |    |    |    |    |    |    |    |     |     |     |
| ブルーベリー、ラズベリー、ブラックベリー |    |    |    |    |    |    |    |    |    |     |     |     |

標準使用量  
→: 300g/株(8g/用土ℓ)、→→: 150g/株(4g/用土ℓ)、→→→: 75g/株(2g/用土ℓ)

※関東地方を基準にしています。( )内はコンテナ栽培での使用量

##### 計量の目安

●ティースプーン1杯で約2g、山盛り1杯で約3gです。  
●料理用計量スプーン小さじ(5cc)1杯で約5gです。  
●上記使用量を目安に植物の生育にあわせて加減してください。  
●生長期に液体肥料(加工場シリーズ)と併せて与えるとさらに効果的です。  
※肥料成分の腐植酸が手につきます。黒くなりますので、気になる方は手袋を着用してください。



あしたを育てる。

## 住友化学園芸株式会社

〒104-0032 東京都中央区八丁堀 4-5-4

●商品についてのお問い合わせ先 TEL:03(3551)1128<sup>ダイヤル</sup>  
(9:30~12:00/13:00~16:30/土、日、祝日を除く)

住友化学園芸ホームページ  
**eグリーンコミュニケーション**<sup>®</sup>  
[www.sc-engei.co.jp](http://www.sc-engei.co.jp)

植物の気になる症状などから虫や病気を判断し、有効薬剤までナビゲート!

 **携帯版病害虫ナビはこちらから →**  
<http://m.sc-engei.co.jp> (通信料がかかります)



この印刷物の記載内容は2012年10月現在の内容です。

12.11.1